

市議会全員説明会で議論 新たな総合計画の策定

(事務局)

7月29日に開催された市議会・全員説明会では、先日発表された「新たな総合計画素案」について議論がされましたね。

(堀添)

はい。6月定例会でも総合計画についての議論はありましたが、どちらかといえば策定方法や概要に関するものでした。全員説明会は素案に基づくものでしたので、いよいよ具体的な計画の中身が議論の対象になりました。

(事務局)

どのような議論がされたのでしょうか。

(堀添)

いくつかのポイントに議論が集中しましたが、やはり目立ったのが財政フレームに関するものだったと思います。今回示された「今後の収支フレーム」は、基本的には2015年度当初予算を審議した時のもので、たとえば歳出に関してはすでに実施が決まっている政策のみが計上されています。より信頼性のある財政収支推計は来年2月に提示されるとのことであり、12月に予定されている基本構想と基本計画の議決には間に合わないこととなります。

(事務局)

総合計画には、財政的な裏付けが必要ということですね。

(堀添)

そうですね。ただし、注意しなければいけないのは、議決対象となるのは、総合計画のうちの基本構想と基本計画の部分ということです。この部分には「まちづくりのあり方」といった理念的なものが記載されていますので、この中身によって直接財政フレームが決まるというものではないということです。

逆に言えば、たとえば保育所待機児童数をゼロにするといった具体的な中身は実施計画の部分にゆだねられることとなりますが、本当にそれでよいのか、という気はします。少なくとも柱となる重点施策については、基本計画レベルでも触れるべきかもしれません。

この素案については、8月末までパブリックコメントが行われていますし、23日には「エポックなかはら」において、車座集会も開催されます。これからの川崎市を方向付ける計画ですので、ぜひ関心をもって関わっていただければと思います。

(事務局)

ありがとうございました。

(※素案の詳細は川崎市ホームページもご参照ください。)



- 1963(昭和38)年、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 2015年4月、同3期目当選。
- 川崎市議会 環境委員会副委員長
- 神奈川県後期高齢者医療広域連合議員
- 民主党神奈川県連 総務・財政委員長
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住



数値でみる川崎と高津No.3

シリーズ すでに減り始めている予算

川崎市議会議員

ほりぞえ健^{けん}

全国的には人口減社会と
なつて久しいですが、川崎
市ではまだまだ人口増が続
いています。

しかし、川崎市でも現役
世代の数はすでに横ばい状
態となつていることは、前
回に見た通りです。

こうした人口動態は、川

崎市の財政状況にも大きな
影響を与えています。人口
増ほどには税収が増えてい

ないため、市民一人当たり
の予算額は2003年度を
境に減少傾向へと転じてい
ます。

下記のグラフは、過去3

5年間の一般会計決算額の
推移を示したもので
すが、1978年度
には市民一人当たり

20万円程度だった
財政規模が、ピーク
の2003年度には



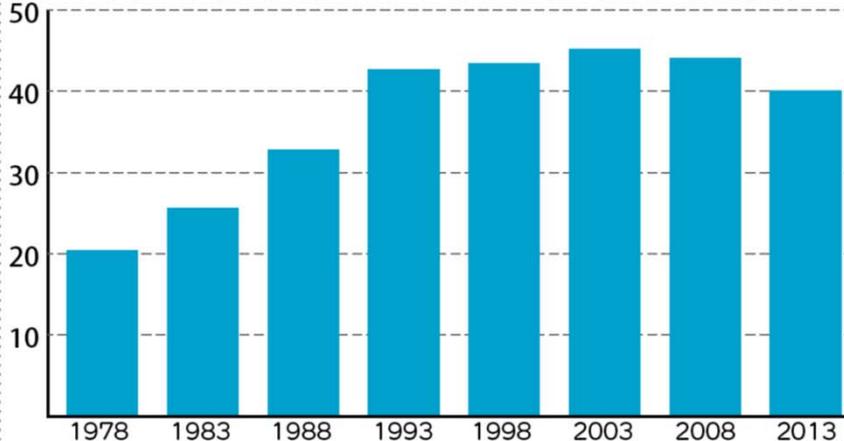
ほりぞえ健^{けん}

1963(昭和38)年、高津区に生まれ、高津
小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工
業大学を卒業。52歳。妻と長女の3人家族。

Facebook: horioeken
<http://www.horizoe.com/>

45万円を超え
るところまで増
えました。その
後は徐々に減り
始め、直近の2
013年度では
40万円まで下
がっています。

市民一人当たりの川崎市決算額(一般会計)



これは1990年頃と同じ
レベルです。
人口増は続いているもの
の、すでに市民一人当たり
の財政規模は縮小し始めて
いることを前提に、川崎市
のまちづくりを進めていか
なければなりません。

毎週、最新ニュースを駅頭でお配りしています。



月曜日:津田山駅 水曜日:溝口駅南口 金曜日:梶が谷駅 / 午前7時~8時半